

歴史書 通信

9

2016 No. 227

小仏峠の茶屋 [藤田 覚]

歴史書新刊ニュース (7・8月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (7・8月)

歴史リバイバル 2016年フェア出品 / 参加書店一覧

歴史系学会・シンポジウム開催情報



歴史書懇話会

小仏峠の茶屋

藤田 覚

(東京大学名誉教授)

峠を歩いて越えるのは今も昔もきつい。峠の麓には付き物のように名物「峠餅」や「峠団子」などがあり、それに力をえた旅人があえぎなら登りつめた峠には茶店がある。五街道の一つ甲州道中を歩いて武蔵国から相模国をへて甲斐国へゆくには、武蔵と相模の国境にある標高548メートルの小仏峠を越えなければならない。

JR中央線高尾駅を降りて甲州街道(20号線)を西へ進み、小名路こなじというところで細い方の道こまき(これが甲州道中)へ右折してゆくと駒木野(小仏)関所に出る。神妙にして通り抜けると、道は少しずつ狭くなり、小仏川に沿って屈曲しながら緩やかな坂が続く。だんだん峻しくなる坂道を切り切ると小仏峠に至る。北条氏の時代にはほど近くに小仏関所があったという、交通・軍事の要衝でもあった。

江戸幕府が文化3年(1806)に完成させた「五街道分間延絵図ぶんげんのかえず」の「甲州道中」を見ながら歩くと、道幅などは違うが道の屈曲や急坂の具合など当時とほとんど変わらない。まして峠道に入れば江戸時代と同じである。そうい

う江戸時代の空気を感じさせてくれるところが気に入って、20年くらい前までは年に数回峠を越え、次の宿があった小原宿おぼら、あるいは相模湖(いずれも相模原市緑区)まで歩いた。峠には二軒の茶屋があり、老夫婦がお茶を振る舞ってくれた。秋には、周辺の山で採れたクリタケやナメタケなどのキノコ、アケビと栗などを売っていた。買い求めて家に帰り鍋物にして食べたものである。その茶屋もいつしか無人になり、淋しくなった。

峠の茶屋は江戸時代からあった。「新編武蔵風土記稿」に載せられている「正保年中改定図しょうほう」には見えないが、「元禄年中改定図」には、小仏峠のところに、俵の形をした円の中に「小仏宿之内 峠茶や」と書かれ、天保6年(1835)頃に作成された「天保国絵図」には、峠のところに「上長房村之内 峠茶屋」と記されている。小仏峠の茶屋は、江戸幕府撰の国絵図に特記されるものだったのである。さきの「五街道分間延絵図」には、「武蔵相模国境字小仏峠 立場」と記され、数棟の建物と鳥居たてばが描かれている。峠は立場、

すなわち休憩場であり建物は茶屋であろう。

小仏峠を越える途中、峠の茶屋でひと休みした江戸時代人の文章を紹介しよう。享保15年(1730)3月末に江戸から甲府へ帰郷した五味兵左衛門は、その旅の見聞を記した紀行文「道の記」のなかで、「坂道石高いしだかにしては狭く難所なり、零くだりて道あしく、いくめぐり羊腸として人馬ともに息をあへぎ、えいやつと峠にあがり茶店に休みて一首の狂親の日にととは喰ねど此坂はまいりへの小仏の山」と峠越えの様子を書く。峠道の険しさと、ひと休みできる茶屋の有り難さが伝わってくる。峠の茶屋は六、七軒あったという(東京都教育委員会『歴史の道調査報告書第五集 甲州道中』1998年)。

江戸後期の尊王家で上州の人高山彦九郎は、安永6年(1777)4月に甲州身延山参詣の折りに小仏峠を越えたが、「峠茶や五六軒有り」とだけ書き(『丁酉春旅』『高山彦九郎日記』第一巻)、三年後の安永9年6月、富士登山の途中にふたたび小仏峠を越えたが、「峠茶やあり、晴れたる日は江戸東方に見ゆるといふ、八王子は東なれども山陰にて見えず、峠にしばらく休らう」と、峠で休んだことしか書いていない(『富士山紀行』同前)。

文政3年(1820)の植田孟縉「武蔵名勝図会」によると、峠には茶店が二、三軒あり、旅人はかならずここで休憩し、古くから赤飯を名物としたとい

う(『武蔵名勝図会』)。文政10年刊行の旅行案内書の一つ、『諸国道中商人鑑』のうち「甲州道中商人鑑」(山梨県立図書館蔵)には、「甲州道中小仏峠名物こわめし・御ちやづけ 藤屋源七」が掲載されている。茶屋藤屋が、「こわめし」(赤飯)を小仏峠名物としていた。

浮世絵師歌川広重は、天保12年(1841)4月に書いた紀行文「広重甲州道中記」(前掲『歴史の道調査報告書第五集』)のなかで、「峠の茶屋に休む、中食一ぜんめし、平ひら(浅くて平たい椀に盛った料理)、きみこんぶ、あぶらげにふきなり、甚だまづし」と書く。峠の茶屋で昼食をとったが、広重の口に合わなかったのか酷評している。

現在も峠には、「宝暦7年(1757)□月吉日」建立の庚申塔、寛政7年(1795)3月に「甲州郡内領下谷村中」が建てた「高尾山道」の石標がある。しばし峠の茶屋で休養した旅人は、この庚申塔を拝み石標をたよりに、つぎの小原宿おぼらをめざして急な坂道を下っていったのだろう。

昨年12月、八王子市史編さん室の青年二人と高尾駅から峠をこえ、小原宿本陣などを見学しながら相模湖駅まで歩いた。私には久しぶりの峠越えであり、歳もとったのできつかったが、なんとか歩ききった。峠の茶屋の建物は荒れ果て、風に吹かれて物悲しげな音を鳴らしていた。まもなく跡形もなくなつて知る人もなくなり、歴史の闇

に消え去ってゆくのだろう。

かつて私は、峠を越えて相模湖までたどり着くと、湖畔の土産物屋の二階食堂で相模湖名物わかさぎ天ぷらなどを肴に、一杯呑んで疲れを癒したものである。今回は疲れ果てたので相模湖駅近くの食堂に入り、わかさぎ天ぷらを食べた。店内の貼り紙をよくみると、

それはカナダ産わかさぎだった。茶店だけではない、わかさぎも今は昔の話しとなったらしい。

〈表紙写真〉

五海道其外延絵図 甲州道 巻第3
(東京国立博物館所蔵)

Image : TNM Image Archives

歴史書懇話会役員幹事 改選のお知らせ

当会は、6月24日の平成27年度総会において、組織改変をおこない、役員幹事を右記の通り選任いたしました。

代表幹事(法藏館)	西村 明高
書記幹事(吉川弘文館)	春山 晃宏
会計幹事(塙書房)	関口 守俊
販売・企画委員会幹事(同成社)	榎 祐典
弘報委員会幹事(法藏館)	西村 明高 (兼任)

※特設店・企画委員会と販売委員会を統合し、新たに販売・企画委員会を設置いたしました。これに伴い、現行の特設店制度を一旦、廃止いたします。

新刊ニュース

7・8月の新刊 *発売予定のものもあります

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

豊島直博・木下正史編

ここまでわかった飛鳥・藤原京

倭国から日本へ

四六判 256頁 2,400円

吉川弘文館 [7月刊]

978-4-642-08298-3

王宮・王都、都市陵墓、寺院、木簡などのテーマを論じた日本考古学協会シンポジウムの記録。これからの課題を整理・展望する。

日本史

概論・通史/史料/古代/中世/近世/近代/現代/地方史

館野和己・出田和久編

日本古代の交通・交流・情報 3

遺跡と技術

A 5判 388頁 5,500円

吉川弘文館 [7月刊]

978-4-642-01730-5

近年、道路・駅家などの遺構が各地で発見されている。交通施設と交通に関わる技術から古代交通の様相を描き、その景観を考える。

高橋秀樹・三谷芳幸・村瀬信一著

ここまで変わった日本史教科書

A 5判 240頁 1,800円

吉川弘文館 [8月刊]

978-4-642-08299-0

中・高校生が学ぶ日本史は不変のものではない。教科書の現在を知るために、記述の変化と根拠となる研究の進展を専門家が解説する。

和田秀作編

戦国遺文 大内氏編 第1巻

A 5判 330頁 17,000円

東京堂出版 [7月刊]

978-4-490-30770-2

中国地方最大の戦国大名、大内氏。待望の網羅的な史料集が全4巻で刊行開始。第1巻には応仁元年～明応5年の944通を収録。

日本書紀研究会編

日本書紀研究 第31冊

A 5判 328頁 9,500円

塙書房 [7月刊]

978-4-8273-1531-8

現存史籍最古の『日本書紀』を、考古学・民俗学・文化人類学等、学的な関心により多側面から検討した8論文を取める。

峰岸 明著

平安時代記録語集成 上・下

附 記録語解説

四六判 上=1612頁、下=1576頁 各34,000円 吉川弘文館 [7月刊]

平安時代の記録語約3万語の資料を集成。小右記・御堂関白記など11点から採録し、所出箇所(年月日・刊本頁行)・用例を示す。

上= 978-4-642-01474-8、下= 978-4-642-01475-5

中井 均著

ハンドブック 日本の城

A 5判 224頁 1,400円

山川出版社 [7月刊]

978-4-634-15100-0

戦国期以降の名城130城の「見どころ」を写真と文で紹介した。国宝・国指定重要文化財の城郭建造物を全て掲載した城郭ファン必携の書。

外池 昇著

検証 天皇陵

四六判 384頁 2,000円

山川出版社 [7月刊]

978-4-634-15102-4

歴代123代の全天皇陵を網羅。陵墓の歴史、「治定」の真偽を航空写真・古写真・絵画資料等でやさしく解説した初めての天皇陵専門書籍。

阪正康 ほか著

世界から見た 20 世紀の日本

菊 5 判 224 頁 1,800 円

山川出版社 [7 月刊]

「激動の 20 世紀日本」を写真とコラムでたどる。海外でも報道されたニュース写真を中心に、豊富な写真資料を収録。100 年間のあれこれを一冊に凝縮。
978-4-634-15098-0

五味彦彦著

文学で読む日本の歴史 中世社会篇

四六判 520 頁 2,000 円

山川出版社 [7 月刊]

歴史書、軍記物、絵巻、日記、紀行文などを参照しながら中世社会に通底する「思潮」を抽出し、その影響を考察した斬新な切り口の歴史書。
978-4-634-15103-1

出羽弘明著

新羅神社と古代の日本

四六判 224 頁 1,800 円

同成社 [7 月刊]

全国に多数存在する新羅神社を探訪しその由来や地理的環境の中に新羅系渡来人の活動の様相を探る。『新羅の神々と古代日本』の改訂版。
978-4-88621-735-6

菊地照夫著

古代王権の宗教的世界観と出雲

(古代史選書 21)

A 5 判 352 頁 予備 8,000 円

同成社 [8 月刊]

稲作農耕に伴う稲霊（いなだま）信仰と記紀神話との共通要素と対応関係を抽出し、王権の支配領域の中心を出雲が占めた根拠を徹底論証する。
978-4-88621-738-7

田中英道著

天平に華咲く「古典文化」

続・「やまとごころ」とは何か

四六判 384 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [7 月刊]

『記』『紀』の形成、東大寺などの寺院建立、『大宝律令』整備などが天皇を中心になされ、ついには国家が作り上げられた過程を解明する。
978-4-623-07500-3

須田 勉著

国分寺の誕生

古代日本の国家プロジェクト（歴史文化ライブラリー 430）

四六判 282 頁 1,800 円

吉川弘文館 [7 月刊]

在地社会は国家の企画した国分寺の思想をいかに受け止め造営したのか。建立にいたる政治状況を辿り、諸国国分寺の特徴を解明する。
978-4-642-05830-8

高橋昌明著

東アジア武人政権の比較史的研究

(歴史科学叢書)

A 5 判 360 頁 10,000 円

校倉書房 [8 月刊]

視野が日本一国にとどまっている限り、日本の武士や武家政権についての解明や歴史的な位置づけも、不十分なままに終わると考え、比較に取り組んだ。
978-4-7517-4700-1

高橋慎一郎著

日本中世の権力と寺院

A 5 判 284 頁 9,000 円

吉川弘文館 [8 月刊]

中世に台頭した武家と寺院は社会における影響力を強めた。六波羅の実態を追究し、西山派教団に視点を据えて、その動向を描く。
978-4-642-02932-2

夏目琢史著

文明・自然・アジール

女領主井伊直虎と遠江の歴史

四六判 208 頁 予備 1,900 円

同成社 [7 月刊]

三概念を自在に操り、南北朝から戦国期の 250 年を大転換期であると論証し、その象徴として井伊直虎に焦点を当て、平明な文体で語りかける。
978-4-88621-734-9

平井上総著

長宗我部元親・盛親

四国一篇に切腹へ、怒に威勢を振ふ

四六判 324 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [8 月刊]

四国全土をほぼ支配するも、秀吉に届いた元親。大坂の陣で激戦奮闘を繰り広げた盛親。土佐から戦国の世を動かした父子と、その領国経営の実像に迫る。
978-4-623-07762-5

桜井好朗著

吉野の霧 太平記

(読みなおす日本史)

四六判 214 頁 2,200 円

吉川弘文館 [7 月刊]

楠木正成、後醍醐天皇、足利尊氏、佐々木道誉らの生き様と、混沌の中から生まれる新たな時代の動きを大胆かつ平易に描く、歴史物語。
978-4-642-06716-4

大口勇次郎著

江戸城大奥をめざす村の娘

生妻村関口千恵の生涯

A 5判 256頁 4,500円

山川出版社 [7月刊]

江戸近郊の名主の家に生まれた千恵は、様々な制約を乗り越え、江戸城大奥へ。江戸時代のキャリア女性の数奇な生涯を、関口日記から明らかにする。

978-4-634-52021-9

柴田 純著

江戸のパスポート

旅の不安はどう解消されたか (歴史文化ライブラリー 432)

四六判 280頁 1,800円

吉川弘文館 [8月刊]

旅人は、身許証明と同時に病気や不慮の事故の際に保護を求める「往来手形」を携えた。旅行難民救済体制から江戸時代の光と影に迫る。

978-4-642-05832-2

松本英治著

近世後期の対外政策と軍事・情報

A 5判 368頁 10,000円

吉川弘文館 [8月刊]

寛政～文化期、西洋諸国の通商要求に起因する対外紛争が頻発。交渉窓口の長崎への影響を軍事と情報から論じ、幕府の対応を追究する。

978-4-642-03474-6

長野ひろ子著

明治維新とジェンダー

四六判 212頁 3,000円

明石書店 [6月刊]

明治維新という日本の一大変革期に、ジェンダーは如何なる変容を遂げ、近代国家成立に向け再構築されていったのか。重層的・構造的分析を行う。

978-4-7503-4364-8

長島要一訳・編注

デンマーク人牧師がみた日本

明治の宗教指導者たち

四六判 328頁 3,700円

思文閣出版 [8月刊]

1911年に来日したカール・スコウゴー＝ピーターセンによる、宗教指導者へのインタビューなど、当時の日本人の宗教観を探った日本印象記。

978-4-7842-1860-8

瀧井一博著

渡邊洪基

衆智を集むるを第一とす

四六判 376頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [8月刊]

東大初代総長、渡邊洪基。日本の近代化を支える「知」のあり方を追求した明治国家の造形者のひとりとして、渡邊に新たな光を当てる。

978-4-623-07714-4

野村 實著

日本海海戦の真実

(読みなおす日本史)

四六判 208頁 2,200円

吉川弘文館 [8月刊]

日本海海戦の勝因はバルチック艦隊を丁字戦法で迎撃できたからというのが定説だった。海軍極秘資料から海戦の舞台裏を解明する。

978-4-642-06717-1

趙 彦民著

満洲移民の歴史と生活体験

第七次中和鎮信濃村開拓団の事例を中心に

A 5判 560頁 6,800円

明石書店 [7月刊]

長野県の第七次中和鎮信濃村開拓団に焦点を当て、戦前と戦後の満洲移民の歴史と経験を捉え直す。膨大な資料を渉猟した貴重な研究。

978-4-7503-4379-2

玉 真之介著

総力戦体制下の満洲農業移民

A 5判 222頁 8,500円

吉川弘文館 [7月刊]

従来の植民地支配ではなく、深刻化する食糧問題への対応という新たな視点から実態を追究。日満農政研究会についても考察する。

978-4-642-03854-6

一本松 幹雄著

戦争と日本の暗黒時代

忘れ得ぬ「聖戦」と断末魔の日々

四六判 248頁 2,000円

明石書店 [7月刊]

断末魔の時代ともいうべき太平洋戦争下の日本を体験した著者が、その苦難の原因について回顧・分析し、現代日本の政治状況に警告を発する書。

978-4-7503-4378-5

顕原澄子著

原爆ドーム

物産陳列館から広島平和記念碑へ (歴史文化ライブラリー 431)

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [7月刊]

元は物産陳列館。原爆投下で廃墟となり、凄絶な悲劇を伝えながら、核廃絶希求の象徴として世界遺産に登録されるまでの歴史を追う。

978-4-642-05831-5

野添文彬著

沖縄返還後の日米安保

米軍基地をめぐる相克

A 5 判 256 頁 5,800 円

吉川弘文館 [7 月刊]

なぜ米軍基地の集中化が方向づけられたのか。返還前後～80年代の動きを分析。多様に絡み合う要因を追及し、基地問題の起源に迫る。

978-4-642-03855-3

平山裕人著

アイヌ地域史資料集

A 5 判 264 頁 4,800 円

明石書店 [7 月刊]

アイヌの地域ごとの基礎史料をまとめたリファレンス。前近代は蝦夷地商場・北千島・北蝦夷地、近代は北海道 14 支庁・南樺太各地の人口、歴史的事象の記述文献等。

978-4-7503-4375-4

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

橋場弦・村田奈々子編

学問としてのオリンピック

四六判 260 頁 2,500 円

山川出版社 [7 月刊]

オリンピックは、なぜ多くの人々の関心を集めるのか。その理念に焦点をあて、歴史、哲学、芸術、スポーツ科学といった複数の視点から意味を考える。

978-4-634-64084-9

秋田 茂・水原陽子・羽田 正・南塚信吾・三宅明正・桃木至朗 編著

「世界史」の世界史

MINERVA 世界史叢書 総論

A 5 判 456 頁 5,500 円

ミネルヴァ書房 [8 月刊]

これまで人類が、いかなる「世界像」を描き、今どのような「世界史」をもっているのか、その「世界史」の特徴や問題点は何か、を総点検し、それらの課題を乗り越えるオルターナティブな展望を示す。

978-4-623-07111-1

荷見守義著

永楽帝

明朝第二の創業者 (世界史リブレット人 38)

A 5 変型 112 頁 800 円

山川出版社 [7 月刊]

父帝への恭順と反逆を繰り返し、しだいに王朝の仕組みを独自の仕様に作り替えていった明朝第二の創業者たる彼の生きざまを追う。

978-4-634-35038-0

奈良修一著

鄭成功

南海を支配した一族 (世界史リブレット人 42)

A 5 変型 96 頁 800 円

山川出版社 [8 月刊]

明朝に最後まで忠義を尽くした鄭成功とその父鄭芝龍の活動を、17 世紀激動の東アジア全体の歴史とともに紹介。その後の鄭氏一族の活躍と清朝への降伏を描く。

978-4-634-35042-7

糟谷憲一・並木真人・林雄介著

朝鮮現代史

四六判 464 頁 3,500 円

山川出版社 [7 月刊]

朝鮮の開国から現在までを丁寧に叙述。近代化の模索、日本による植民地支配、解放と南北分断、その後の歩みなど「近くて遠い」朝鮮半島の近現代史。

978-4-634-64085-6

田中義隆著

ミャンマーの歴史教育

軍政下の国定歴史教科書を読み解く

A 5 判 352 頁 4,600 円

明石書店 [7 月刊]

軍事政権下のミャンマーで使用されてきた中学・高校の国定歴史教科書から同国史の部分を詳しい補注を付して翻訳。ミャンマーの持つ歴史観を紹介。

978-4-7503-4385-3

設楽國広著

ケマル・アタチュルク

トルコ国民の父 (世界史リブレット人 86)

A 5 変型 116 頁 800 円

山川出版社 [8 月刊]

トルコ共和国の創設者であり初代大統領。一軍人からどのようにして権力を集中し、祖国解放運動、そして西歐的国家建設の指導者となりえたかを追う。

978-4-634-35086-1

佐藤清隆編著

The Life Story of Mrs Nilima Devi, MBE:

An Indian Classical Dancer in Leicester
(Memory and Narrative Series 9)

B 5 判 202 頁 4,800 円

刀水書房 [7 月刊]

英国多民族都市レスターで 10 年以上継続する聞き書きの最新巻。既刊 8 冊の詳細は弊社 HP 参照 (発行: Research Centre for the History of Religious and Cultural Diversity: Meiji University, Tokyo)

978-4-88708-909-9

ウェンディ・ロー著、武井彩佳監訳

ヒトラーの娘たちホロコーストに加担したドイツ女性
四六判 328頁 3,200円

明石書店 [7月刊]

冷戦後に公開された資料や調査から、ナチス占領下のドイツ女性を、ヒトラーの台頭するドイツ社会史にて再考し、歴史の闇に新たな光を当てる。

978-4-7503-4374-7

ミラ・ウィルクインズ著／安保哲夫・山崎克雄監訳

アメリカにおける外国投資の歴史

1607～1914

A5判 1256頁 15,000円

ミネルヴァ書房 [7月刊]

アメリカにおいてなされた外国投資の歴史を丹念に追い、多国籍企業の成立史を解き明かす。入植から南北戦争後、大恐慌時代そして、第一次世界大戦前までの時代を追う。

978-4-623-06391-8

文化史文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

後藤彰信著

石川三四郎と日本アナーキズム

A5判 254頁 5,500円

同成社 [7月刊]

明治から昭和にかけて活躍した石川三四郎を中心にアナーキストの動向や労働運動との関わりなどを注視し、その特質や歴史的意味を探る。

978-4-88621-731-8

石川九楊著

日本の文字 文字論

(石川九楊著作集Ⅱ)

A5判 472頁 9,000円

ミネルヴァ書房 [8月刊]

日本語とは漢字、カタカナ、ひらがなの混成体。万葉仮名の時代に遡り、ひらがなの美学をうみだした日本文化の秘密に迫る。解説／佐伯順子

978-4-623-07748-9

石川九楊著

見失った手 状況論

(石川九楊著作集Ⅰ)

A5判 744頁 9,000円

ミネルヴァ書房 [7月刊]

高度情報化と極度の市場経済のもとで、現代人が書くことの〈手〉を見失っていく状況への警告の書。解説／三浦雅士

978-4-623-07747-2

大隅和雄著

西行・慈円と日本の仏教

通世思想と中世文化

四六判 220頁 2,300円

吉川弘文館 [8月刊]

歌人、西行と慈円。天台座主に登りつめた慈円。遁世者として生きた無住。僧侶と仏像の歴史を通して、日本独特の仏教史を模索する。

978-4-642-08300-3

伊藤 聡著

神道の形成と中世神話

A5判 296頁 9,000円

吉川弘文館 [8月刊]

中世期に全国へ広まった本地垂迹思想の展開を、天照大神と愛染明王、祝詞や和歌の習合等から検討。思想史上の到達点を示す。

978-4-642-02933-9

大谷裕文、塩田光喜編著

海のキリスト教

太平洋島嶼諸国における宗教と政治・社会変容

A5判 352頁 4,500円

明石書店 [7月刊]

18世紀、西洋から持ち込まれたキリスト教が、いかにしてオセアニアで受け入れられたか。社会変容の関係を歴史人類学の視点から考察した論文集。

978-4-7503-4373-0

エリック・シッケタンツ著

墮落と復興の近代中国仏教

日本仏教との邂逅とその歴史像の構築

A5判 380頁 5,000円

法蔵館 [8月刊]

我々を知る近代中国仏教の歴史像は、日本人が作ったイメージに過ぎなかった。国際的に活躍する気鋭の研究者が、世界の最新研究を踏まえ、アジア仏教史研究の視座とその前提を問い直す。

978-4-8318-7709-3

熊倉功夫著

熊倉功夫著作集 第一巻

茶の湯一心とかたち

A5判 450頁 7,000円

思文閣出版 [8月刊]

文化史の諸領域にわたり、鋭敏な感覚で鮮やかに本質を明らかにしてきた著者の自選による著作集。第一巻は茶の湯に関する論考を集める。

978-4-7842-1852-3

中安真理著

箏篳の研究

東アジアの寺院荘厳と絃楽器

A 5判 280頁 6,000円

思文閣出版 [7月刊]

長く仏教建築を荘厳しながらも今では廃れてしまった絃楽器「箏篳(くご)」。中国・日本の文献を博捜し、その実態を明らかにする。

978-4-7842-1849-3

エリザベス・ユウィング著／杉浦悦子・能澤慧子訳

こども服の歴史

A 5判 280頁 2,800円

東京堂出版 [8月刊]

こども服に関する詳細な記録、各時代のこども観、教育観、さらには各時代の社会のあり方まで詳述。西洋のこどもたちは、何を着てきたのか。

978-4-490-20944-0

服部幸應・服部津貴子監修／こどもくらぶ編

What is 和食 WASHOKU?

B 5判 160頁 2,000円

ミネルヴァ書房 [7月刊]

食育研究の第一人者による監修で、暮らしに根付く「和食」を、一汁三菜、郷土料理やおもてなしといった切り口から世界に紹介する。英文対訳付き。

978-4-623-07739-7

津川康雄著

タワー

ランドマークから紐解く地域文化

A 5判 256頁 2,000円

ミネルヴァ書房 [8月刊]

日本各地のタワーや高層ビルは、いつ・なぜ建てられたのか、誕生の裏側に迫り、それらから見える景色や地域、人びととの関わりをみる。

978-4-623-07787-8

高岡弘幸著

幽霊 近世都市が生み出した化物

(歴史文化ライブラリー 433)

四六判 256頁 1,800円

吉川弘文館 [8月刊]

幽霊はいかにして生まれ、なぜ目に見えるのか。文学、民俗学的資料から、「都市」の生活文化が幽霊の怖さを生んだことを考える。

978-4-642-05833-9

村上大輔著

チベット 聖地の路地裏

八年のラサライ日記

A 5判 230頁 2,400円

法蔵館 [8月刊]

天空の大地、チベット。聖と俗、慈悲と欲望、仏教と政治的抑圧のあいまで、聖地ラサに住む人々はどう生きているのか。気鋭の人類学者が彼らの心の路地裏を歩きその精神風景を描く。978-4-8318-6234-1

伝記

森 公章著

天智天皇

(人物叢書 287)

四六判 336頁 2,300円

吉川弘文館 [8月刊]

中大兄皇子の名で知られる古代天皇。乙巳の変後、称制を経て中央集権体制確立を推進。通説を覆し、生涯を通して激動の7世紀を描く。

978-4-642-05280-1

ノーマン・ワデル著／樋口章信訳

売茶翁の生涯

A 5判 256頁 3,500円

思文閣出版 [7月刊]

自在に京の景勝地で茶店を開いて煎茶を売り、当代一流文化人を魅了した18世紀の禅僧売茶翁。謎に包まれた人生と思想をひもとく評伝。

978-4-7842-1845-5

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

8月号(第819) = 7月刊
9月号(第820) = 8月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い 23,500円〔税・送料込〕

学生・院生 一年間 5,000円〔税・送料込〕

A5判 8月号 = 130頁、9月号 = 130頁
8月号 = 741円、9月号 = 741円

吉川弘文館〔7・8月刊〕

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2016.7・8

明石書店

- コスタリカを知るための60章【第2版】 エリア・スタディーズ 岡本伊代編……………四六判 2,000円 7月
- 台湾を知るための60章 エリア・スタディーズ 赤松美和子、若松大祐編著……………四六判 2,000円 8月
- 東日本大震災 何も終わらない福島5年 飯館・南相馬から 寺島英弥著…四六判 2,200円 8月
- 現代中東情勢ハンドブック(仮) 神奈川大学アジア研究センター編……………四六判 予価2,600円 8月
- グッド・モーニング、ミスター・マンデラ(仮) ゼルダ・ラ・グランジュ著…四六判 予価3,800円 8月

東京堂出版

- 新版 インドを知る事典 山下博司・岡光信子著……………四六判 2,900円 8月

法蔵館

- 無明からの目覚め 谷川理宣著……………四六判 1,000円 8月

ミネルヴァ書房

「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり

- 袖井孝子編著・佐藤 滋・木村清一・高橋英典・辻 利夫・澤岡詩野・戸田達喜著……………四六判 2,200円 7月
- 核拡散防止の比較政治 核保有に至った国、断念した国 北野 充著……………A5判 6,000円 7月
- 活躍する女性会社役員の国際比較 役員登用と活性化する経営
渡辺 峻・守屋貴司編著……………A5判 3,000円 7月
- 災害復興からの介護システム・イノベーション 地域包括ケアの新しい展開
小笠原浩一・栃本一三郎編著／日本介護経営学会編集協力……………A5判 3,000円 7月
- 原発事故後のエネルギー供給からみる日本経済 東日本大震災はいかなる影響をもたらしたのか
馬奈木俊介編著……………A5判 5,000円 7月
- 帝国ホテルに働くということ 帝国ホテル労働組合七〇年史 奥井禮喜著……………四六判 1,800円 7月
- 青春放浪から格差の経済学へ シリーズ「自伝」my life my world 橋木俊詔著……………四六判 3,500円 8月
- ソーシャル・キャピタルの世界 叢書 ソーシャル・キャピタル① 稲葉陽二・吉野諒三編著…A5判 4,000円 8月
- ソーシャル・キャピタルと教育 叢書 ソーシャル・キャピタル② 露口健司編著……………A5判 4,000円 8月
- 知識経済をジェンダー化する 労働組織・規制・福祉国家
S・ウォルビー、H・ゴットフリート、K・ゴットシャル、大沢真理編著／大沢真理編訳……………A5判 5,500円 8月
- メディアの卒論【第2版】 テーマ・方法・実際 藤田真文編著……………A5判 3,200円 8月
- 日本環境教育小史 市川智史著……………A5判 6,000円 8月
- 企業人の社会貢献意識はどう変わったのか 社会的責任の自覚と実践 安齋 徹著……………A5判 7,000円 8月

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在11社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊) 最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購読を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」 小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「特設店」 全国に18拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です!

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に18店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いします。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

◆「歴懇リバイバル」 復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴懇リバイバル」を実施しています。

一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」 & 「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評階報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

〈会員社〉 明石書店・校倉書房・思文閣出版・東京堂出版・刀水書房・同成社・
塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴懇リバイバル 2016

名著・基本図書を一括復刊!

明石書店

地図がつくったタイ (明石ライブラリー 58) トンチャイ・ウイニッチャクン著／石井米雄訳……………3,980 円
19 世紀、英仏列強に挟まれたシヤムは権益を守るため軍隊と地図作製隊を使い周縁に進出。国家や国民という観念の創造と近代的地図の相関関係を明かす。【4 刷】

校倉書房

地域史の方法と実践 吉田伸之著……………6,000 円
千葉県史、千葉市史、飯田市歴史研究所創立などに関わったことから、地域社会の研究・叙述の方法を考え、地域史料の調査法に関する論議をまとめた。【2 刷】

刀水書房

古代末期の世界 ローマ帝国はなぜキリスト教化したか? [改訂新版] ピーター・ブラウン著／宮島直機訳…2,800 円
【刀水歴史全書 58】 古代末期を中世への移行期ではなく独自の文化的世界と見なす画期的な書。鬼才 P. ブラウンによる「この数十年の間で最も影響力をもつ歴史書!」(書評)【2 刷】

ドイツ三十年戦争 C. ヴェロニカ・ウェッジウッド著／瀬原義生訳……………10,000 円
名前だけは有名だが、専門家以外には知られていなかったこの戦争の実態を、当時の複雑な政治社会の中に、躍動的に描いた本邦初の本格的通史。【3 刷】

同成社

縄文土器の技法 (考古学研究調査レポート 2) 可見通宏著……………1,500 円
縄文土器はどのようにして作られたのか。粘土の採取から完成までをわかりやすく解説しつつ、現時点で考えうる当時の土器製作工程を再構築する。【2 刷】

隼人と古代日本 (古代史選書 6) 永山修一著……………5,000 円
隼人=「夷狄」とする従来の歴史観に疑問を呈し、律令国家によって征服対象とされた彼らの抵抗と戦いの歴史を描き、律令政府の支配論理を解剖する。【2 刷】

法蔵館

現代語訳 南海寄帰内法伝 義浄撰／宮林昭彦・加藤栄司訳……………9,000 円
歴史の教科書に登場する『南海寄帰内法伝』。義浄が著した 7 世紀インドの衣食住にわたる戒律の実態。その第一級資料を正確にわかりやすく現代語訳に。【2 刷】

埴 書 房

上代日本文學と中國文學 上《OD版》小島憲之著……………14,000円
 上代文学の表現に関し、大陸文学摂取享受の状態を、敦煌文書その他の資料を利用、出典論の立場から比較文学的方法により、巨視的微視的に考察した雄篇。【元版7刷】

上代日本文學と中國文學 中《OD版》小島憲之著……………11,000円
 上巻は古事記・日本書紀・風土記中心のいわば上代散文編。中巻は、万葉集篇。【元版7刷】

上代日本文學と中國文學 下《OD版》小島憲之著……………14,000円
 下巻は、奈良朝末期から平安朝初頭にかけての散文韻文を選びすぐったいわば上代詩篇と名付けられるものである。昭和40年度恩賜賞受賞。【元版7刷】

英雄と伝説《OD版》豊田 武著……………2,400円
 日本史上英雄と目される人物、田村麻呂・将門・義経・時頼・正成・信長・秀吉等の伝説化の経緯を、社会の動きと関連させ、新見を示し詳述。【元版初版】

山川出版社

出雲国風土記 沖森卓也・佐藤信・矢嶋泉編著……………1,700円
 古代神話・伝承の宝庫『出雲国風土記』を、日本史学・日本文学・日本語学の研究者が学際的に共同研究した成果をまとめた書。【7刷】

吉川弘文館

聖徳太子 (人物叢書) 坂本太郎著……………1,900円
 日本史上不世出の偉人。史実と伝説を峻別し、推理や憶測を排し透徹の史眼で描く太子伝の決定版。【12刷】

鑑 真 (人物叢書) 安藤更正著……………1,900円
 5度の渡海失敗にめげず天明の身で来朝、奈良仏教と日本文化に大感化与えた唐僧、唐招提寺開祖。【9刷】

西 行 (人物叢書) 目崎徳衛著……………1,800円
 知られなかった多くの史実を明らかにし、数奇の遁世者、西行の特異な生き方の全貌を平易に描く。【9刷】

足利義昭 (人物叢書) 奥野高広著……………2,200円
 室町幕府最後の将軍。失脚後も見果ぬ夢抱いて転々諸国を流浪。運命に翻弄された数奇な生涯を描く。【4刷】

千 利休 (人物叢書) 芳賀幸四郎著……………2,200円
 茶聖利休！偉大な芸術の大天才。其人と芸を転換期の世相上に浮彫し、自刃し果る数奇な生涯を描く。【10刷】

徳川家光 (人物叢書) 藤井譲治著……………1,900円
 江戸幕府3代将軍。機構の整備、大名統制、鎖国等により幕制を確立。「生まれながらの将軍」を描く。【2刷】

島津斉彬 (人物叢書) 芳 即正著……………1,900円
 人格・識見に優れ、内治・外交に卓抜な英知示す。殖産興業・富国強兵に努めた開明派薩摩藩主の伝。【4刷】

高杉晋作 (人物叢書) 梅溪 昇著……………2,200円
 幕末の長州藩士。尊攘・討幕運動を指導し、士庶混成の奇兵隊を創設。維新の夜明け前に病没した短い波乱の生涯を再現し、実像に迫る。【2刷】

歴懇リバイバル

参加書店一覧

2016年7月31日

北海道

札幌市 三省堂書店札幌店
札幌市 北海道大学生協
書籍部クラーク店
札幌市 紀伊國屋書店札幌店

青森県

弘前市 紀伊國屋書店弘前店

岩手県

盛岡市 ジュンク堂書店盛岡店

宮城県

仙台市 紀伊國屋書店仙台店
仙台市 ジュンク堂書店仙台TR店
仙台市 丸善仙台アエル店
仙台市 東北大学生協文系書籍店

福島県

郡山市 ジュンク堂書店郡山店

茨城県

水戸市 川又書店県庁店

群馬県

前橋市 煥乎堂本店
前橋市 戸田書店前橋本店
前橋市 ブックマンズアカデミー
前橋店

高崎市 ブックマンズアカデミー
高崎店
太田市 ブックマンズアカデミー
太田店
太田市 喜久屋書店太田店

埼玉県

さいたま市 須原屋本店
さいたま市 ジュンク堂書店
大宮高島屋店
さいたま市 紀伊國屋書店
さいたま新都心店

千葉県

松戸市 ジュンク堂書店
松戸伊勢丹店
習志野市 丸善津田沼店

東京都

渋谷区 MARUZEN&ジ
ュンク堂書店渋谷店
新宿区 早稲田大学生協戸山店
新宿区 ブックファースト新宿店
千代田区 岩波ブックセンター信山社
千代田区 三省堂書店神保町本店
千代田区 書泉グランド
千代田区 東京堂書店神田神保町店
千代田区 丸善丸の内本店
豊島区 三省堂書店池袋本店
豊島区 ジュンク堂書店池袋本店

文京区 東京大学生協本郷書籍部
目黒区 東京大学生協駒場書籍部
八王子市 首都大学東京生協
南大沢購買書籍部
武蔵野市 ジュンク堂書店吉祥寺店
多摩市 丸善多摩センター店
立川市 ジュンク堂書店
立川高島屋店
立川市 オリオン書房ノルテ店

神奈川県

横浜市 有隣堂本店
藤沢市 ジュンク堂書店藤沢店
藤沢市 有隣堂藤沢店

静岡県

静岡市 戸田書店静岡本店2F
静岡市 MARUZEN&ジ
ュンク堂書店新静岡店
浜松市 谷島屋浜松本店

山梨県

甲府市 ジュンク堂書店岡島甲府店

長野県

松本市 丸善松本店

新潟県

新潟市 ジュンク堂書店新潟店

富山県		奈良県		香川県	
富山市	BOOKSなかだ本店 専門書館	奈良市	啓林堂書店奈良店	高松市	宮脇書店本店
高岡市	文苑堂書店福田本店	大阪府		愛媛県	
石川県		大阪市	ジュンク堂書店大阪本店	松山市	ジュンク堂書店松山店
金沢市	うつのみや金沢香林坊店	大阪市	MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店	松山市	紀伊國屋書店 いよてつ高島屋店
愛知県		大阪市	喜久屋書店阿倍野店	福岡県	
名古屋市	名古屋大学生協 書籍部南部店	大阪市	ジュンク堂書店上本町店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
名古屋市	ちくさ正文館書店	兵庫県		福岡市	丸善博多店
名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店	神戸市	ジュンク堂書店三宮店	福岡市	ジュンク堂書店福岡店
名古屋市	丸善名古屋本店	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店	鹿児島県	
豊橋市	精文館書店本店	姫路市	ジュンク堂書店姫路店	鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
滋賀県		岡山県		鹿児島市	ブックスミスミオブシア店
大津市	大垣書店フォレオ 大津一里山店	岡山市	丸善岡山シンフォニービル店	鹿児島市	鹿児島大学生協中央店
草津市	ジュンク堂書店滋賀草津店	岡山市	岡山大学生協ブックストア	沖縄県	
京都府		倉敷市	喜久屋書店倉敷店	那覇市	ジュンク堂書店那覇店
京都市	丸善京都本店	広島県		中頭郡西原町	琉球大学生協中央店
京都市	京都大学生協書籍部ルネ	広島市	紀伊國屋書店広島店		
京都市	立命館生協ブックセンターふらっと	広島市	ジュンク堂書店広島駅前店		
京都市	アバンティブックセンター	広島市	丸善広島店		
京都市	ジュンク堂書店京都店	島根県			
京都市	大垣書店イオンモールKYOTO店	松江市	今井書店グループ センター店		
		出雲市	今井書店出雲店		

歴史フェアのお知らせ

- ◆6月から8月にかけて、3年振りの共同復刊フェア「歴史リバイバル」が全国91書店で開催されました。ご協力いただいた書店の皆さま、ありがとうございました。
- ◆月代わりで「歴史懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを次の7書店で開催中です（かっこ内はフェア開始の日付）。◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇大阪市ジュンク堂書店上本町店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店（2015年6月～）…お近くの読者の皆さま、是非お訪ねください。
- ◆6月の総会で新たな役員幹事の下に今年度がスタートしました。従来にも増して、フェア等、力を入れてまいります。どうぞよろしく願いたします。

◆毎年8月には、忘れられない日が巡ってきます。71年前、広島に原爆が落とされた6日と、長崎に原爆が落とされた9日です。◆そして、今年は5月26日が特別な日となりました。オバマが原爆投下国である米国の現職大統領として初めて広島を訪問、原爆死没者慰霊碑に献花しました。このオバマの広島訪問を特別な思いで受け取った1人にアマチュア歴史家の森重昭さんがいます。8月6日、森さんの40年間の記録（広島TV制作）を観ました。「原爆によって亡くなった犠牲者の中には12人の米兵捕虜が含まれていた。自身も被爆者である森重昭さんは、40年以上を費やし、被爆米兵の遺族を探し当てた。さらに米国の映画監督バリー・フレッシュが、その記録を『灯籠流し（Paper Lanterns）』にまとめた……」。

◆広島を訪れたオバマの演説を涙を浮かべて最前列で聞く森さんを、オバマが優しく抱きしめたとき、「僕の背中に12人の米兵がいて、彼らが「大統領、あなたがいらっしやるのを一日千秋の思いで待っていました」と伝えたように感じた、と森さんは振り返る（『西日本新聞』）。

◆リオオリンピック開会式の同時刻に放送されたBS「原爆救護～被爆した兵士の歳月～」も重い記録でした。ネットの情報から抜粋します。「原爆投下直後、市民救助を命じられ炎と煙の中、負傷者を救い出し無数の遺体を葬った兵士たちは戦後、放射能の影響が疑われる体調不良に苦しむが、差別や偏見を恐れて口を閉ざした。大多数が被爆者手帳を取得しなかったため“埋もれた被爆者”となっていく。やがてガンなどを発症するが、原爆症認定の壁も厚かった。爆心地での救護活動の実態と、被爆地から遠く離れた故郷で暮らす元兵士たちの苦難の戦後を描く」。この兵士たちは16～18歳の少年志願兵でした。上陸する米軍をベニヤ板製の一人乗り特攻船で迎え撃つ「陸軍海上挺進戦隊」として広島沖の江田島に駐屯していました。救護のために原爆投下後の広島に入った多くの「入市被爆者」がやっと被爆者認定を受けることが出来たのが2008年とのことです。yogen.html.xdomain.jp/hibaku/genbaku_senso.htmlも、ご覧頂ければと思います。

(FN)

歴史系学会・シンポジウム開催情報

島根県・島根県教育委員会主催 **出雲国シンポジウム** 古代出雲とヤマト王権*

会期= 2016年9月19日(祝・月) 会場=松下IMPホール 大阪市中央区城見2-1-61

◆問合せ(事務局)=同シンポジウム参加応募事務局 電話06-6945-7135(平日10~17時)

◆申込方法=ハガキ・FAX/インターネットで申込、応募者多数の場合は抽選 ◆HP=詳細あり(島根県文化財課HP)

第23回 東京国際ブックフェア*

会期= 2016年9月23日(金)~25日(日) 会場=東京ビッグサイト

◆問合せ(事務局)=東京国際ブックフェア事務局 電話03-3349-8507 ◆HP=詳細あり

日本古文書学会 2016年度 学術大会*

会期= 2016年9月24日(土)~26日(月) 会場=早稲田大学 国際会議場

◆問合せ(事務局)=同会事務局 gakkai@komonjo.sakura.ne.jp ◆HP=詳細あり

日本史研究会 2016年度大会*

会期= 2016年10月8日(土)、9日(日) 会場=立命館大学 大阪茨木キャンパス

◆問合せ(事務局)=同会事務局 電話075-256-9211 ◆HP=詳細あり

地方史研究協議会 2016年度 第67回(妙高)大会*

共通論題=「境」と「間」の地方史—信越国境の歴史像—

会期= 2016年10月15日(土)~17日(月) 会場=妙高市 新井ふれあい会館

◆問合せ(事務局)=同会事務局 電話03-6802-4119 ◆HP=詳細あり

日本考古学協会 2016年度 弘前大会*

◆会期= 2016年10月15日(土)~17日(月) ◆会場=弘前大学 文京町キャンパス

◆問合せ(事務局)=大会事務局 電話0172-39-3190 ◆HP=詳細あり

セミナー 歴史を生きる歴史家 —二宮宏之・西川正雄を記念する—

発表・発言者=黒田祐我、佐藤真紀、大串潤児、西川純子、二宮素子の各氏

会期= 2016年11月20日(日) 会場=信州風樹文庫 長野県諏訪市中洲3289-1

◆問合せ(事務局)=黒田祐我氏 yugkur@shinshu-u.ac.jp

*印の会場では、歴史書懇話会による書籍出張販売がござります。

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

戦争を繰り返さないために、差別と憎しみの連鎖を断ち切るために

ある反戦、ベトナム帰還兵の回想

W・D・エアハート著／白井洋子訳 (刀水歴史全書99)
 詩人で元米軍海兵隊員が、ベトナム戦争の従軍体験と、帰還後に反戦平和を訴える闘士となるまでを綴った自伝的回想。
 「あたかも小説のごとき臨場感に満ちた一冊。またPTS Dなる概念も普及しておらず帰還兵の処遇もいよいよ加減だったニクソン政権期の混沌が伝わってくる(書評から)」
 四六上製 四六〇頁 ¥三、五〇〇

第二次大戦と西アフリカ

フランスに命を捧げた黒人部隊「セネガル歩兵」
 フランスに命を捧げた黒人部隊「セネガル歩兵」
 小川了著 第一次大戦時、フランス領西アフリカから駆り出された黒人部隊の若者たちは17万人。「フランスは他の欧州諸国家が、禁じ手」としていた欧州本土でのアフリカ兵の軍事動員に踏み切った。本書は第一次大戦のみならず、フランス、という国を理解するうえでも必読の書である(書評から)。
 AS上製 四〇〇頁 ¥五、〇〇〇

民族浄化のヨーロッパ史

憎しみの連鎖の二〇世紀
 ノーマン・M・ナイマーク／山本明代訳 解説：百瀬亮司／山本明代
 「民族浄化」五つの事例を20世紀ヨーロッパ史に辿った問題作! 今も断ち切れない負の連鎖。やられた民族が立場変わればやり返す。「本書が伝える教訓を自らに課す覚悟が必要ではないか(朝日新聞)」
 AS上製 三八〇頁 ¥四、五〇〇

国家の周縁

特権・ネットワーク・共生の比較社会史
 田村愛理・川名隆史・内田日出海共編
 社会の本質は差異にある。西洋・中東・日本、様々な国の周縁で差別を逆手に取り、村を越え国境を越えて、またたかに生きてきた人々や地域の存在に焦点を合わせ、新たな視点により周縁と国家の関係を問い直す
 AS上製 三七〇頁 ¥四、五〇〇

好評発売中

妖獣バニヤップの歴史

オーストラリア先住民と白人侵略者のあいだで
 藤川隆男著



バニヤップは先住民に伝わる幻の生き物。イギリスの侵略が進むなか、白人入植者の民話としても取り入れられ著名な童話のキャラクターとなる。この動物の記録を通して語るもう一つのオーストラリア史
 (刀水歴史全書91)
 四六上製 三〇〇頁 ¥二、三〇〇

これが歴史だ! 21世紀の歴史学宣言

ジョー・グルディ&D・アーミテージ／平田雅博・細川道久訳
 歴史の力は、人々を解放する
 (刀水歴史全書92)
 四六上製 二〇〇頁 ¥二、二〇〇

ウイーンと ヨーロッパにおけるライバル宮廷

1550〜1780
 J・タインタム著／大津留厚・小山啓子他訳
 宮廷の内部における権力関係を論じた意欲作
 (人間科学叢書46)
 AS上製 四四〇頁 ¥四、五〇〇

直良信夫の世界 20世紀最後の博物学者

杉山博久著「明石原入」の発見で知られた博士を没後30年に顕彰
 (刀水歴史全書93)
 四六上製 二二〇頁 ¥二、五〇〇

神聖ローマ帝国 ドイツ王が支配した帝国

池谷文夫著 今、あらためて読みたい神聖ローマ帝国史
 (世界史の鏡 四六) 一五〇頁 ¥一、六〇〇

【価格は税抜】
 〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
 東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
 http://www.tousuishobou.com

朝鮮現代史

糟谷憲一・並木真人・林雄介著

四六判 464頁 本体3500円

19世紀後半から今日まで、朝鮮の開国、日本の植民地支配、解放と南北分断、そしてその後の南北両国の歩みを丁寧に叙述する。「近くて遠い」朝鮮半島の今を考える基本的通史。

礫岩のようなヨーロッパ

古谷大輔・近藤和彦編 A5判 228頁 本体3800円

「礫岩のような政体」から構成されていた近世のヨーロッパ。近代の国民国家とは異なる複合的な国家秩序のあり方を検討し、ヨーロッパの近世史をあらためて問う。

学問としてのオリンピック

橋場弦・村田奈々子編 四六判 260頁 本体2500円

オリンピックはなぜかくも多くの人々の関心を集めるのか。その理念に焦点を当て、オリンピックがもつ意義を、歴史・哲学・芸術・スポーツ科学などの視点から考える。

文学で読む日本の歴史 中世社会篇

五味文彦著 四六判 520頁 本体2000円

これまでの歴史研究にはない独自の構想で切りひらく新しい中世史像！ 歴史書、軍記物、絵巻、日記、紀行文などによりながら中世社会に通底する「思潮」を抽出し、さらなる考察を深めた書。

忘れられたマイノリティ

―迫害と共生のヨーロッパ史

関哲行・踊共二著 四六判 256頁 本体2500円

ユダヤ人、ムスリム、キリスト教世界のなかの異端など、宗教的マイノリティの視点からヨーロッパ社会の深層をさぐり、世界各国へと広がった迫害の歴史にも目を向ける。

江戸城大奥をめざす村の娘

―生麦村関口千恵の生涯

大口勇次郎著 A5判 256頁 本体4500円

身分や女性の立場といった制約を乗り越え大奥に奉公した、江戸時代のキャリア女性。その数奇な生涯を、関口日記から明らかにする。

検証 天皇家

外池昇著 四六判 384頁 本体2000円

神武天皇から昭和天皇まで、歴代の全天皇陵の歴史を、空撮写真・古写真・絵画資料を活用し解説する初めての書。

良心の興亡 ―近代イギリス道徳哲学研究

橋植尚則著 四六判 296頁 本体2500円

「良心」の思想の系譜をたどり、その背景に潜む自己愛、利己心との関係を明らかにし、かつては倫理学の中心だった良心についての議論を通観しながら人間の主体性にも迫る。

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

(表示は税別)

電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

進む歴史研究、変わる教科書の記述

あなたが中学校・高校で学んだ日本史は過去のもの？

ここまで変わった

日本史教科書

高橋秀樹・三谷芳華・村瀬信一著

1800円

中学生・高校生が学ぶ日本史は不変のものではない。教科書の現在を知るために、旧石器から平成まで四六のテーマを設定し、記述の変化とその根拠となる研究の進展を教科書の専門家が解説する。Q&Aなどの付録も充実。

天智天皇

(人物叢書Ⅱ)

森 公章著
2300円

中大兄皇子の名で知られる古代の天皇。孝徳天皇主導の下、乙巳の變で蘇我本宗家を滅ぼす。白村江の戦で大敗後は、すぐに即位せず称制の形で中央集権体制の確立を推進。通説を覆し、生涯を通して激動の七世紀を描く。

西行・慈円と日本の仏教

大隅和雄著 通世思想と中世文化 『新古今集』を代表する歌人、西行と慈円。西行の通世に憧れながら天台座主にまで登りつめた慈円。仏教の諸宗を学びながら通世者として生きた無住。これらの僧侶と仏像の歴史を通して、日本独特の仏教史を模索する。
2300円

江戸のパスポート

432 柴田 純著 旅の不安はどう解消されたか。庶民の旅が盛行した江戸時代。旅人は身許証明と同時に、病氣や事故の際に保護を求める文言が記された「往来手形」を携えた。この旅行難民救済システム「パスポート」体制からみえる江戸時代の光と影に迫る。
1800円

日本海海戦の真実

日露戦争の帰趨を決定した日本海海戦の勝因は、バルチック艦隊の進路を予測し、迎撃できたからというのが定説だった。その後発見された海軍極秘資料から再検討を加え、海戦の舞台裏を解明(読みなおす日本史)
野村 實著
2200円

幽霊 近世都市が生み出した化物

433 高岡弘幸著 幽霊はいついかにして生まれ、なぜ目に見えるのか。文学・芸能、民俗学の資料に描き込まれた幽霊が誘うままに近世社会を旅し、三都や城下町という「都市」の生活文化こそが幽霊の怖さを生み出したことを考える。
1800円

日本中世の権力と寺院 神道の形成と中世神話

高橋慎一朗著
9000円
伊藤 聡著
9000円
近世後期の対外政策と軍事・情報
松本英治著
10000円

平安時代の日記から蒐集した(記録語)約三万を集成。平安語の宝庫、ついに成る

平安時代記録語集成

上・下

各34000円
峰岸 明著
【内容案内】送呈

附記録語解説

【内容案内】送呈

記録語辞典の編纂を志した国語学の権威が蒐集した、平安時代の記録語約三万語の資料を集成。小右記など十一点から採録し、所出箇所(年月日・刊本頁行)用例を示す。記録語辞典原稿の一部を「記録語解説」として附載。



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2番8号 / 表示価格は税別です
電話03-3813-9151(代表) / FAX 03-3812-3544 / 振替00100-5-244
【URL】http://www.yoshikawa-k.co.jp/

2016年版『出版図書目録』送呈

歴史書懇話会

▶ 会員社名簿 ◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 〈担当者：石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区元町 355 〈担当者：中江俊治〉
TEL. 075-533-6860 FAX. 075-531-0009
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3223-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本 社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第 1 ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：杉田信啓〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2016年9月1日発行・第227号

取扱店

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)